

伝統の南部鉄器を海外に発信 (及源鑄造 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:岩手県奥州市水沢区羽田町字堀ノ内45
- 代表者:代表取締役 及川 久仁子
- 資本金:9,000万円
- 売上高:6億3,000万円(H23年度)
- 従業員数:70名
- URL:<http://oigen.jp/>

①事業概要

<南部鉄器の製造・販売>

及源鑄造株式会社は、嘉永5年創業、100年以上にわたり伝統の南部鉄器を生産し、久仁子社長で5代目となる老舗。

「重い、手入れが大変」と思われがちな南部鉄器を改良し、錆び難いフライパンなどを商品化し多くのファンを獲得している。

海外輸出の歴史は長く、約50年前から輸出を開始、現在では海外向け輸出は売上の2割を占めている。

②海外展開概要

<中国、北米、欧州への販路開拓>

及源鑄造では昭和30年代半ばから海外輸出をスタート。高度経済成長を背景に機械生産を開始、質の高い鑄物を大量生産できるようになったことが、輸出に踏み出すきっかけとなった。

まずは欧州にティーポットを輸出。カラフルなティーポットが人気を博し、フランスの大手紅茶店の広告にも使用されるなど欧州市場にも浸透している。

平成12年以降はさらに積極的に海外展開を行い、化学物質不使用・無塗装なのに錆びにくい「上等鍋(英語名:Naked Pan)」を開発し特許を取得。熱の伝わりが均一で油の馴染みもよく錆びにくいとしてプロの料理人から高い評価を受けたほか、このように日本国内だけでなく海外マーケットへの挑

戦も続けている。

また、岩手県大連事務所を通じて中国の大手中国茶店から依頼を受け、プーアール茶をおいしくいられる鉄瓶を共同で開発し、大口契約に成功した。

現在は欧州向けティーポット、上等鍋、中国向け南部鉄瓶が同社の輸出品の3本柱。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

及源鑄造の成功の要因は、顧客の声に応えた新商品開発と、行政やJETROなどの支援策を積極的に活用していること。

JETROの輸出有望案件に採択され手厚い支援を受けていたほか、中国向け鉄瓶では岩手県知事のトップセールスにより売り込みを行うなど、各方面の支援策を活用している。

④今後の事業展開について

及源では海外向け輸出の比率をさらに高めるべく、今後も海外展示会を始め、効果的な輸出戦略の構築に取り組んでいる。また、後継者育成にも熱心で若手人材の育成に取り組んでいる。



プーアール茶を世界一おいしく淹れる鉄瓶



伝統を感じさせる本社社屋

(平成24年10月現在)

データ出所:東北経済産業局